

29 学校地域連携コーディネータープラン

認証状の名称(日本語名)		学校地域連携コーディネーター			
<p>(認証の教育目標と社会的意義)</p> <p>学校支援活動、放課後の教育活動、地域文化活動など、学校と地域との連携・協働を推進するために必要とされる基礎的知識(学校や地域に関する知識、ボランティア・マネジメントに関する知識、子どもに関する臨床的知識など)を広く体系的に習得させる。国がすすめるコミュニティ・スクールや地域学校協働本部などの施策において、学校支援等の地域活動の連絡・調整やボランティアの確保など、学校と地域が連携する際に中心的役割を担い、要(かなめ)となるコーディネーターを養成する。</p>					
<p>(認証取得後の目的・目指せる道・資格等)</p> <p>今後公立小中学校に置かれることが期待されている「地域コーディネーター」、学校側の窓口として地域連携の企画・調整等を行うことが想定されている「地域連携担当の教職員」、社会教育主事、学芸員、司書などの生涯学習に関わる職員、また、学校を含む地域活動を実践するNPOの者、NPO中間支援組織の職員などによる認証取得が望まれる。</p>					
<p>(認証取得条件)</p> <p>授業科目群36単位の中から、必修科目6単位(60時間)、選択必修科目2単位(15時間)以上を含めて、合計14単位(120時間)以上を修得すること。</p> <p>※本プランは、学校教育法に基づく「総時間数120時間以上」という認証取得条件を設定しています。</p> <p>◎:必修科目、○:選択必修科目、無印:選択科目</p>					
授業科目群の構成					
	科目名	テレビ /ラジオ	分野もしくは コース名	必修 科目等	備考
1	教育学入門('15)	R	心理と教育	◎	
2	地域コミュニティと教育('18)	T	心理と教育	◎	
3	生涯学習を考える('17)	オンライン	心理と教育	◎	
4	教育の社会学('15)	T	心理と教育	○	
5	日本の教育改革('15)	R	心理と教育	○	
6	心理と教育へのいざない('18)	R	心理と教育		
7	学校と法('16)	R	心理と教育		
8	市民自治の知識と実践('15)	R	基盤科目		
9	社会調査の基礎('15) 社会調査('09)、社会調査('05)	T	社会と産業		
10	国際ボランティアの世紀('14)	T	総合科目		
11	問題解決の進め方('12)	T	基盤科目		
12	NPOマネジメント('17) NPOマネジメント('11)、NPOマネジメント('07)	R	社会と産業		
13	博物館教育論('16)	R	人間と文化		
14	子ども・青年の文化と教育('17)	R	心理と教育		
15	少子社会の子ども家庭福祉('15)	T	生活と福祉		
16	心理カウンセリング序説('15) 心理カウンセリング序説('09)	R	心理と教育		
17	思春期・青年期の心理臨床('13)	R	心理と教育		
18	学力と学習支援の心理学('14)	T	心理と教育		